（別紙第３号様式）

輸入異性化糖等売渡し及び買戻し申込書

令和　　年　　月　　日

独立行政法人農畜産業振興機構

理 事 長 　殿

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 通知者 名　称 | 輸入申告者氏名（名称）  | 申込者住所名称　　　　　　　　　　役職・氏名　　　　　 |

|  |
| --- |
|  |

砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律に基づき、下記により輸入異性化糖等を売り渡し、かつ、買い戻したく、独立行政法人農畜産業振興機構業務方法書及び輸入異性化糖等売買要領を了知のうえ所定の書類を添えて申し込みます。なお、本承諾書交付後に、承諾書の内容と輸入許可等の内容と異なった場合は、売渡し及び買戻しの契約の変更が必要となることについて了知します。

記

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 異性化糖平均供給価格 | 異性化糖標準価格 | 左の価格の適用期間 | 輸入申告をする税関名（支署又は出張所） | 輸入申告年月日 | 輸入申告番号 | 蔵置場所（倉庫名） | 売買差額合計 |
|  |  | 月　日から　月　日まで |  | 令和　年　月　日 |  |  | 円 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 種類 | 統計品目番号 | 輸入申告数量 | 売渡価額 | 買戻価額 | 売買差額 | － | 原産地 | － | 適用 |
| 単価 | 金額 | 単価 | 金額 |
| 1 |  |  | M/T | 円 | 円 | 円 | 円 | 円  |  |  |  |  |
| 2 |  |  | M/T | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 |  |  |  |  |
| 3 |  |  | M/T | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 |  |  |  |  |
| 4 |  |  | M/T | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 |  |  |  |  |
| 5 |  |  | M/T | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 |  |  |  |  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 担保区分 | □特定担保□根担保　（担保番号：　　　　　　） | 納付方法 | □担保金充当　　□個別納付　　□個別納付（延長）　　□一括納付　　　 |

輸入異性化糖等の買入れ及び売戻し承諾書

申込者　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　承諾番号

名　　称　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　月　日

役職・氏名　　　　　　　　　　　殿

上記申込書のとおり承諾します。

この承諾書を交付することにより輸入異性化糖等売買要領の定めるところによる買入れ及び売戻しの契約が成立しました。

独立行政法人農畜産業振興機構　理事長 　　　印

（注）電磁的記録で交付する場合、電子署名をもって理事長印に代えるものとする。

輸入異性化糖等売渡し及び買戻し申込書の記載注意

１　「通知者」は、売渡等申込者が農林水産大臣の定める数量の通知を受けた者と異なる場合に当該通知を受けた者を記載すること。

２　「輸入申告者」は、売渡等申込者が輸入申告をする者でない場合のみ記載すること。

３　「種類」は、別表１に掲げる輸入異性化糖又は輸入混合異性化糖の別を記入すること。

４　「統計品目番号」は、別表１に掲げる輸入異性化糖又は輸入混合異性化糖の統計品目番号を記入すること。

５　「輸入申告数量」の記載は、Ｍ／Ｔ単位とし、小数点（Ｍ／Ｔ）以下第３位までとすること。

６　「売渡価額の単価」は別表３に基づき算出すること。

７　「買戻価額の単価」は別表４－１又は４－２に基づき算出すること。

８　「売渡価額の金額」は「売渡価額の単価」に売買数量（輸入申告数量（実数量）から水分率を差し引いて算出した乾物重量）を乗じて得た額で算出し、円未満の端数を切り捨てること。

９　「買戻価額の金額」は「買戻価額の単価」に売買数量（輸入申告数量（実数量）から水分率を差し引いて算出した乾物重量）を乗じて得た額で算出し、円未満の端数を切り捨てること。